

令和7年度 宮崎県公民館大会 県北ブロック大会

大会テーマ

その日に備え、今から考える、みんなをむすぶ公民館

- 1 趣 旨 県内の公民館関係者が一堂に会し、地域づくりの拠点及び生涯学習推進の中心としての公民館活動の在り方について考え、活力ある住みよい地域づくりに資する。
- 2 主 催 宮崎県公民館連合会
- 3 共 催 日向市 日向市教育委員会 宮崎県教育委員会
- 4 主 管 県公民館大会県北ブロック大会実行委員会
- 5 後 援 宮崎県 宮崎県市町村教育委員会連合会
- 6 日 時 令和8年1月24日（土）
- 7 会 場 日向市文化交流センター（〒883-0046 日向市中町1-31）
- 8 対 象 自治公民館・公立公民館関係者 市町村教育委員会関係職員 社会教育関係者
学校教育関係者 等
- 9 日 程

12:20		13:15		13:55		14:20		15:30	
		13:00		13:40		14:10		15:20	
受付	アトラクション	開会行事	表彰	発表①	発表②	休息	講演	閉会行事	

10 内 容

(1) アトラクション

橘ひょっこ踊り保存会

(2) 開会行事

ア あいさつ

○ 宮崎県公民館連合会長 佐藤 貢 氏

イ 歓迎のあいさつ

○ 日向市長 西村 賢 氏

ウ 表彰

○ 宮崎県公民館連合会功労者表彰

○ 宮崎県公民館連合会優良自治公民館報表彰

(3) 発表

① 門川町古川公民館 館長 黒川 信好 氏

② 延岡市長浜町公民館 館長 西島 輝夫 氏

(4) 講演

演題「東日本大震災・平成28年熊本地震」における危機管理の実際

日向市梶木区自治会 副区長 柏田 弘利 氏

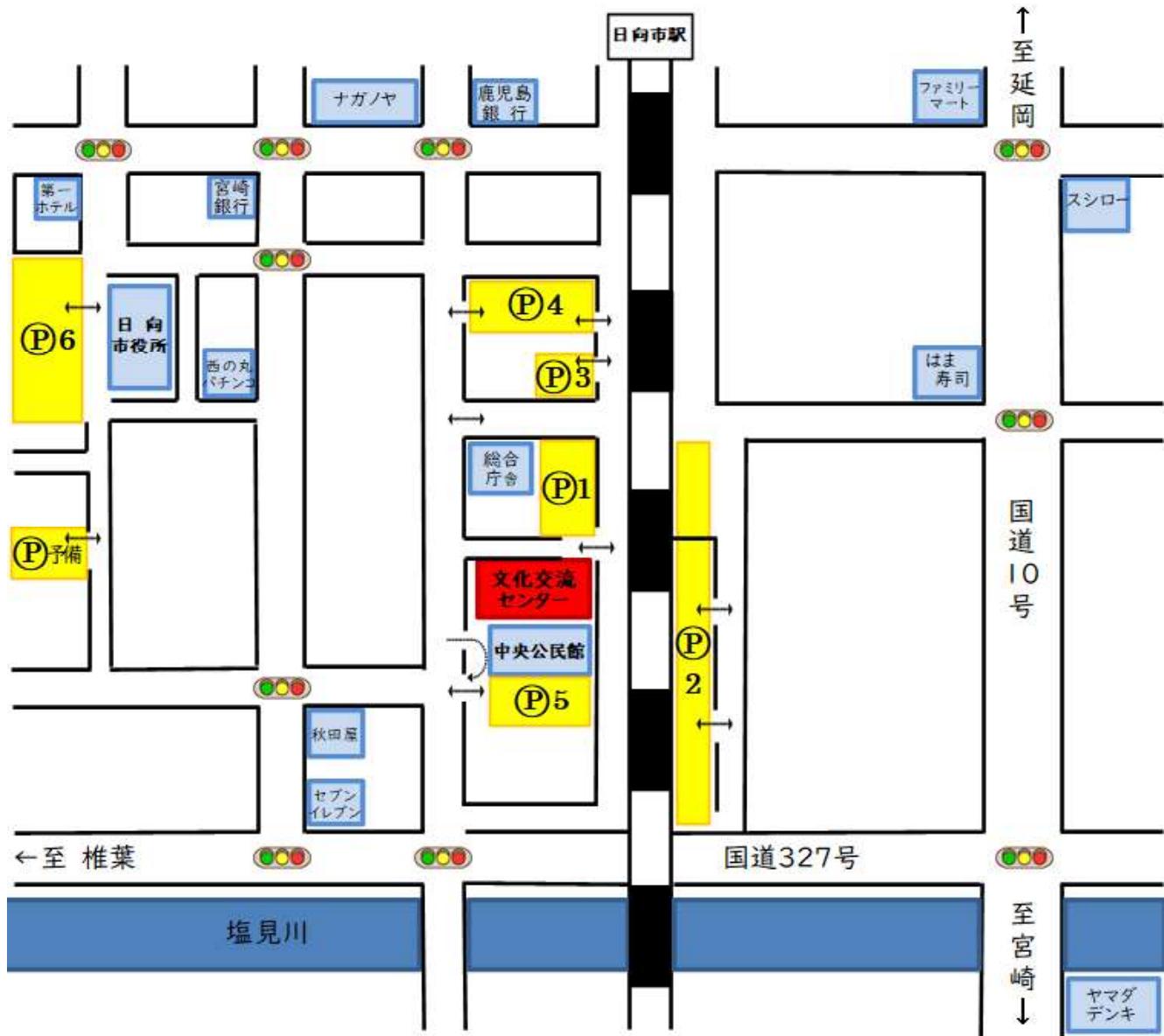
(5) 閉会行事

あいさつ 県北ブロック大会実行委員長 黒木 末人 氏

II 参加申込について

- (1) 公民館主管課の担当者は、参加者をとりまとめいただき、別紙様式を県公連事務局（県生涯学習課社会・家庭教育担当）へ、メールで御提出ください。< E-mail hiramatsu-kentaro@pref.miyazaki.lg.jp >
- (2) 申込みの締切りは、令和7年11月7日（金）です。

II 会場案内について



①: 日向市文化交流センター	第1駐車場 普通車（約100台）	自家用車でお越しの方は、第1駐車場から第3駐車場を御利用ください。満車時は、日向市役所前の駐車場を御利用ください。
②: 日向市文化交流センター	第2駐車場 普通車（約100台）	
③: 日向市文化交流センター	第3駐車場 普通車（約50台）	
④: 日向市役所臨時駐車場	大型バス及びマイクロバス待機場	
⑤: 日向市中央公民館駐車場	来賓及び関係者駐車場	※中央公民館利用者用駐車場になります。
⑥: 日向市役所来庁者駐車場	普通車	

II その他

旅費は参加者負担になります。

令和7年度宮崎県公民館大会県北ブロック大会

参加お申込みは、下の二次元コードからどなたでも（当日参加OK！）

参加
無料

大会テーマ

その日に備え、今から考える、みんなをむすぶ公民館

令和8年
1/24

土曜日

会場
日向市文化交流センター

主なプログラム 13:00～15:30 日向市中町1-31

地域の防災意識
向上に役立つ！

✓ アトラクション 橘ひょっこ踊り保存会	13:00～13:15
✓ 表彰 功労者表彰・優良自治公民館報表彰	13:15～13:40
✓ 発表 門川町古川公民館、延岡市長浜町公民館	13:40～14:10
✓ 講演 日向市梶木区自治会	14:20～15:20

※お問合せ 宮崎県公民館連合会（宮崎県教育庁生涯学習課内）

TEL:0985-26-7447 MAIL:ky-shogaigakushu@pref.miyazaki.lg.jp

【主催】宮崎県公民館連合会

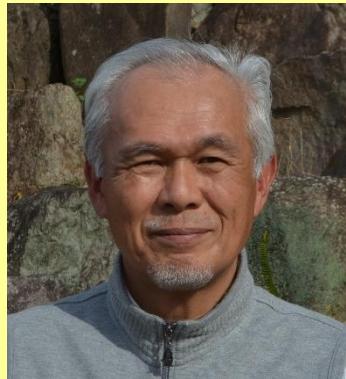
【共催】日向市 日向市教育委員会 宮崎県教育委員会

【後援】宮崎県 宮崎県市町村教育委員会連合会

大会プログラムの詳細は、
こちらから
御覧ください。



講師・発表者・アトラクション団体・司会者 紹介



【演題】 「東日本大震災・平成28年熊本地震」における危機管理の実際

<職 略>

1979年: 特殊法人簡易保険福祉事業団の日向簡易保険保養センター職員として採用。
2003年: 日本郵政公社施設管理運営担当グループリーダー兼係長として採用。
2007年: 郵政民営化に伴い、日本郵政株式会社へ移行。
2009年4月: 北海道・東北サポートセンター所長（宮城県・かんぽの宿松島駐在）として勤務。
2010年4月: かんぽの宿松島総支配人に就任。
2013年7月: かんぽの宿日田総支配人、兼任かんぽの宿阿蘇総支配人（九州地域統括）として勤務。

<災害対応経験>

2011年3月11日（東日本大震災）にかんぽの宿松島総支配人として、宿泊客や社員とともに避難を経験。震災直後、同市内の中学校に設置された避難所の本部長を務め、避難所運営を組織的に指揮。
2016年4月14日・16日（熊本地震）および2016年10月（阿蘇山爆発的噴火）に、かんぽの宿日田・阿蘇総支配人として、避難所運営および危機管理に尽力。

【講 師】

かしわだ ひろとし
柏田 弘利 氏

【現職】
日向市梶木区自治会副区長



【門川町発表者】

くろかわ のぶよし
黒川 信好 氏

【現職】
門川町古川公民館
館長



【延岡市発表者】

にじじま てるお
西島 輝夫 氏

【現職】
延岡市長浜町公民館
館長
延岡市公民館連絡協議会
理事

<現職としての活動>

令和3年度より公民館長。海岸線に近い地区でもあり、災害から区民を守るために様々な方法を模索し、防災士資格を取得。地区役員についても防災士資格の取得を促進し、資格取得とともに様々な防災活動への取組を進めている。

<現職としての活動>

平成22年度より公民館長を務める。夏祭りや、ふれあい防災運動会などを実施し、地域の活性化に貢献。また、延岡市公民館連絡協議会の理事として、総会の議長などの役職を積極的に努め、市内全体の自治公民館活動の発展に寄与している。

【アトラクション】 橋ひょっこ踊り保存会

<紹 介>

ひょっこ踊りの本家本元、宮崎県日向市の塩見（しおみ）永田（ながた）地区に伝わる「永田のひょっこ踊り」を継承する団体。日向市の無形民俗文化財に指定されたこの踊りは、明治期に同地区で眼科を開業した橋公行（たちばなきみゆき）医師が里神楽（さとかぐら）に登場する「もどき」をヒントに考案したと言われている。

<主な実績>

H22 上海万博出演（上海）
H23 東北に日向ひょっこ踊りを届け隊（宮城、岩手）
H24 よしもと新喜劇鳥川耕一芸能生活20周年記念特別公演（大阪）
H26 日向ひょっこ踊り北海道キャラバン（北海道）
R7 能登半島震復興事業 輪島市訪問（石川）
R7 地域文化功労者文部科学大臣表彰



【司会者】 原田いくみ

<現 職>

一般社団法人ハウリング代表理事、男女共同参画地域推進員、ひむかwoman

<経 歴>

秋田・東京のデザイン会社、印刷会社で就労

他ラジオパーソナリティー・司会業

執筆 著書「ベビ待ち」ってなんだよ！？（宝島社）

現在、ソーシャル活動に取り組む

（学校や公共施設に生理用品を設置する活動、ジェンダー平等を目指した講演活動、全ての子どもがやりたいを叶えられるように習い事応援プロジェクトを実施 等）

